

開花期が平年よりも10日程度早かったため、新梢誘引や薬剤散布も前倒しして行いましょう。果実の肥大は不良となっています。

## 【気象】

### ■気象条件

5月の気温は平年より1.4℃高く推移し、6月も同様な傾向が見られます。日照時間や降水量は、平年並です。梅雨入りは6月11日ごろで、平年より3日、前年より4日遅くなりました。

表1. 令和2年5～6月の気象（アメダス佐倉）

月	半旬	平均気温 (°C)			降水量 (mm)			日照時間 (hr)		
		本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
5月	1	19.8	17.5	16.2	2	21	14	38	33	29
	2	17.0	17.0	16.8	14	1	17	24	36	26
	3	21.1	17.6	17.1	1	2	21	42	22	24
	4	18.1	19.1	17.6	73	3	23	10	37	26
	5	17.2	20.2	18.3	19	74	21	17	46	27
	6	20.4	22.3	19.0	4	12	21	31	41	33
5月平均/計		19.0	19.1	17.6	112	110	118	162	215	162
6月	1	22.7	21.4	19.6	1	0	16	23	26	26
	2	23.2	19.4	20.1	11	78	18	42	12	23

注) 平年は昭和56～平成22年の30年間の平均

## 【生育状況】

### ■果実の肥大

6月10日の果実の大きさを満開後日数の横径の平均値と比較すると、農林総研の「幸水」が88%、「豊水」が82%と平年より小さくなっています（表2）。市川市の「幸水」や鎌ヶ谷市の「豊水」も同様に、87%及び89%で平年より小さくなっています。

農林総研の「幸水」では、本年より調査樹を若木に変更したため、着果数が少なくなっています（樹冠占有面積当たりの着果数は平年並）。「豊水」では着果不良のため、着果数が少なくなっています。

表2. 基準調査園における生育調査の結果（6月10日、鎌ヶ谷市は11日）

品種	調査地	樹齢	横径 (cm, (%))			縦径 (cm, (%))			着果数 個/樹
			果径	暦日	満開後	果径	暦日	満開後	
幸水	農林総研	15	3.41	(103, 102)	(91, 88)	2.99	(105, 104)	(94, 91)	284
	市川市	35	3.36	(92, 99)	(83, 87)	3.07	(89, 93)	(98, 105)	やや少
豊水	農林総研	40	3.23	(97, 96)	(89, 82)	3.12	(101, 99)	(91, 86)	450
	鎌ヶ谷市	36	3.63	(99, 104)	(87, 89)	3.32	(98, 102)	(87, 89)	656

注) 横径及び縦径の( )は、前年及び平年の値を100とした比で表した。

### ■作柄の予想

満開後50日の果径（農林総研）から予測される「幸水」の収穫果重は271gで、平年の89%と小さめです。また、本年の収穫始及び収穫盛は、農林総研の「幸水」ではそれぞれ7月29日及び8月7日、「豊水」ではそれぞれ8月18日及び8月27日と予測されます。

「豊水」のみつ症は、満開後 91～100 日の日最高気温の平均値が低い年に多発する傾向にあります。農林総研では6月30日～7月9日とその期間に当たるので留意が必要です。

気象庁（6月11日発表）の1か月予報によると、気温は平年より高く、日照時間や降水量は平年並と予想されています。

## 【栽培管理のポイント】

### ■仕上げ摘果の実施

「幸水」では、極小果や裂果を7月中旬頃に摘果しますが、黒星病発病果や変形果などは見つけ次第摘果します。他の品種についても変形果などは早めに摘果します。

### ■新梢管理

樹冠内部が混雑して日光の透過が悪い場合は早急に誘引や摘心などで対処します。新梢を過度に間引くと樹勢や果実肥大に悪影響が出るおそれがあるので注意します。「幸水」の予備枝は、6月中下旬に予備枝ごと倒し、先端から伸長した新梢を仰角20～30度になるように誘引します。

### ■灌水・排水

灌水は土壌が乾燥する前に始めます。砂質土では5～7日間、その他の土壌では10～15日間まとまった雨がないうちに、10a当たりそれぞれ15t、20～30t灌水します。一方、梅雨の後半には集中豪雨が起りやすいので、水はけの悪い圃場では明渠などによる排水対策を行います。

### ■病虫害対策

千葉県（6月17日発表）の病虫害発生予報によると、向こう1か月間の予想発生量は、シンクイムシ類はやや多、黒星病、アブラムシ類、ハマキムシ類及びカメムシ類は並となっています。黒星病のスス状の病斑がある果そうや果実等は見つけ次第除去し、園外に持ち出します。治療効果のあるDMI剤は連用すると耐性菌出現の可能性があるので、使用は年3回以内とします。

表3. 協力調査地における生育調査の結果（6月10日）

品種	調査地	樹齢	果径 (cm, %)		病虫害発生状況及び特記事項
			横径	縦径	
幸水	市原市	35	3.67 ( 95 )	3.18 ( 98 )	黒星病多
	木更津市	21	3.50 ( 94 )	3.13 ( 99 )	
	館山市	27	3.81 ( 119 )	3.36 ( 118 )	
	印西市	22	3.67 ( 94 )	3.13 ( 94 )	
	柏市	17	3.77 ( 101 )	3.29 ( 100 )	
	いすみ市	36	3.84 ( 108 )	3.15 ( 102 )	
	一宮町	20	3.57 ( 101 )	3.22 ( 107 )	
	香取市	28	3.50 ( 103 )	3.11 ( 96 )	
豊水	八千代市	17	3.23 ( 94 )	3.46 ( 106 )	黒星病少、アブラムシ多、葉が少ない
	旭市	43	3.80 ( 101 )	3.40 ( 100 )	
	香取市	17	3.56 ( 103 )	3.39 ( 107 )	
	四街道市	7	3.98 ( 108 )	3.74 ( 104 )	黒星病有
あきづき	鎌ヶ谷市	21	3.47 ( 100 )	3.22 ( 103 )	
	船橋市	9	3.46 ( 104 )	3.03 ( 100 )	
	松戸市	14	3.43 ( 111 )	3.28 ( 111 )	アブラムシ少
	いすみ市	11	3.33 ( 94 )	3.00 ( 93 )	6月16日調査、調査者変更

注) ( ) 内の値は、前年対比を記載。

【生育情報の問合せ先:千葉県農林総合研究センター 果樹研究室 電話 043-291-9989】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.htm>